

## 埼玉親善大使レポート

2025 年度「埼玉発世界行き」奨学金  
地域活躍コース  
稲垣 栄造  
留学先：アメリカ・ボストン

### 【埼玉県を PR した事柄】

今回、私が埼玉県の PR として重点的に紹介したのは「狭山茶」です。茶葉タイプ、粉末タイプ、ティーバッグを県内のお茶屋さんで購入し、お世話になった研究チームの先生方やメンター、ゲストハウスのスタッフ、留学先で親しくなった友人へお土産として渡しました。

アメリカでは緑茶が “green tea” としてスーパーでも販売されており、現地の人々にも馴染みがあります。そのため、狭山茶は非常に喜ばれました。特に日本文化に興味のあるコミュニティーでは大変好評でした。

興味深かった点として、日本への滞在経験があり本格的な緑茶に触れたことのある人々ですら、狭山茶の存在を知っている人は一人もいませんでした。緑茶といえば静岡が有名で、知識のある方でも「埼玉に特産茶がある」ことは知られていませんでした。

狭山茶をきっかけに、埼玉県の地理や文化について紹介することができ、多くの人々が新たな発見として興味を持ってくれました。今回の活動を通して、埼玉親善大使として一定の役割を果たせたのではないかと感じています。

### 【現地での生活、風土、文化、歴史、国民性など】

留学先のボストンは、アメリカ北東部マサチューセッツ州の州都であり、歴史・学問・研究の中心地として世界的に知られています。

歴史面では、ボストン茶会事件やボストン虐殺など、アメリカ独立革命の舞台となった街であり、街歩きだけでもアメリカ建国の歴史を肌で感じることができました。赤レンガの建物と石畳が続くエリアではヨーロッパの雰囲気が漂い、一方でガラス張りの高層ビルが並ぶエリアもあり、歴史とモダンが共存する独特の景観が印象的でした。

学術都市としての側面も強く、Harvard University、MIT に加え、Boston University、Tufts University など多くの大学が集まり、世界屈指の学問都市として知られています。私は Harvard Medical School の関連病院である Massachusetts General Hospital (MGH) で研究活動を行いましたが、その設備や研究体制から、Harvard University の圧倒的な研究力を随所で感じました。

計測機器は常に最新モデルにアップデートされ、専属のトレーナーが複数名常駐し、企業側も「Harvard に使ってもらう」ことを重視して積極的に協力している様子が見て取れました。また、MIT との連携も非常に密で、研究の規模・スピードは桁違いました。この環境こそが、ボストンを世界的な学術都市たらしめている要因だと実感しました。

生活面では、7 月中旬～8 月の滞在中は日本より湿度が低く、8 月中旬以降は最高気温 25°C 前後と非常に過ごしやすい気候でした。日本の蒸し暑い夏を過ごしている友人や家族を思うと、少し優越感を感じるほどでした。

ボストンは私にとって 4 都市目のアメリカ滞在でしたが、ホームレスが比較的少なく、治安も良く、人々も穏やかな印象でした。街にはレンタルサイクルが広く普及しており、地下鉄やバスだけでなく自転車での移動もしやすい環境が整っていました。

観光面では、ボストン美術館をはじめとして美術館が非常に多く、6 週間では周りきれないほどです。Harvard University や MIT も人気の観光地で、ツアーやグッズ販売で多くの人が訪れていました。

### 【自身の活動に関するここと】

今回の留学の主目的は、Massachusetts General Hospital における研究インターンとしての活動でした。他にも多くの学生が summer students として参加しており、私は 6 週間にわたり実験や論文の読解・発表など、密度の高い研究生活を送りました。

研究以外にも、空き時間を活用してさまざまなアクティビティに参加しました。私はスポーツが好きなので、週末の朝は地元の人たちとサッカーをし、平日の夕方には「アルティメット」というフリスビーのスポーツを楽しみました。

また、2025 年はアメリカ海兵隊 (U. S. Marine Corps) 創設 250 周年の節目で、全米で記念イベントが開催されていました。ちょうど私の滞在期間中にボストンでもイベントが行われており、早朝の “morning training session” に参加して海兵隊式トレーニングを体験することができました。

文化面では、Japanese and English Language Exchange Club に参加し、現地在住の日本人や日本文化に関心を持つアメリカ人と交流しました。多様な背景を持つ人々とつながることができ、研究以外にも多くの学びを得る充実した留学となりました。



